



## 謹賀新年

古牧地区住民自治協議会 会長 田中 邦夫



古牧地区の皆さまにおかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より住民自治協議会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、4年振りに住民自治協議会総会が開催され、各部会・団体が鋭意事業を推進して、コロナ禍以前の水準に戻りつつあり、スポーツ競技、文化祭等が行われ活気が戻ってまいりました。

北八幡川の改修事業では、雨水調整池の土砂を取り除くしゅんせつ工事が始まり、貯水容量が増えて下流への負担軽減が図られてきております。引き続き、同工事は継続して行われます。

また、自主防災連絡会では、災害に備えて古

牧地区自主防災活動要領を作成し活用に向けて検討を進めております。懸案であった無線機再整備事業について、長野市からの補助金も受けて、順次、各区への取付工事が進められます。これにより、各区同士の通話が可能となり、無線機の不感地帯が解消されます。

西尾張部交差点で、2013年8月に自転車に乗っていた三陽中学校の生徒の事故をきっかけに、住民自治協議会、交通安全協会、三陽中学校、地域住民が協力し街頭啓発活動を進めた結果、三陽中学校が関東管区警察局長他から功労団体表彰されました。これは、永年の皆様の地道な活動の賜物です。

最後に、本年が良き年でありますようにご祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

## 古牧小学校の児童と心温まる交流会

11月24日(金)古牧公民館集會室で古牧小学校3年3組28名の皆さんとほんわか健康塾にご参加いただいている皆さん、運営スタッフとの交流会がありました。

この交流会は、3年3組の皆さんが、学習の一環として地域の皆さんと接する楽しさなど

を学びたいと企画し、ほんわか健康塾の開催会場に訪問しました。

事前に、児童たちから「おじいさん、おばあさんを笑顔にしたい」、「僕はリコーダーをうまくひくために練習をがんばりました」、「リコーダーをがんばって吹くので交流の時間をください」など熱いメッセージが寄せられました。

当日は、児童のあいさつの後、リコーダーで「愛の花」などの演奏があり、きれいな音色に大きな拍手が送られました。交流をしたほんわか健康塾の皆さんからは「素晴らしいリコーダーの演奏ありがとう

次頁につづく



前頁のつづき

ございました。一生懸命にひいている姿にじじばばも笑顔と元気をもらいました」「3年3組の皆さんにエールを送ります。私達も元気に毎日すごしたいと思います」などのメッセージが送られました。短時間の交流でしたが、大変心温まる交流になりました。またこのような機会があればと思います。（福祉健康部）



## 「五分一天満宮登龍門」祈願祭

受験合格、学力向上、健康成就などそれぞれの思いを込めて「登龍門祈願祭」の神事が11月12日に五分一天満宮で小春日和の中行なわれました。

開会式で「善光寺神楽五分一流五分一太神楽保存会」による獅子舞いを奉納。祈願神事では、小・中学生や区民約60人の祈願希望者が参



加し登龍門くぐりを行いまして、矢澤速久宮司による祝詞奏上など祈禱を受けました。

五分一天満宮は、昨年春に老朽化による改修工事が行われた記念事業として登龍門祈願祭を計画し区の新しい行事になりました。さらに小・中学生による「子供木遣り」も披露され、宮司から「日頃の学校の勉強も大切ですが、地域の様々な伝統行事に参加し木遣りを覚えたり唄う経験は、もっと大事な生きた勉強になります」とのお言葉を頂き、参加者からも大きな拍手を受けました。祈願神事後、記念の御守りと紅白の饅頭を役員より手渡され、神事は終了となりました。

登龍門祈願祭は、今後も末永く親しまれる五分一区の新しい伝統行事になって欲しいと願います。（五分一区通信員）

## 地域と一体になった交通安全啓発活動の継続を

古牧地区住民自治協議会が主催団体として実施している交通安全街頭啓発活動が、昨年10年という節目を迎えました。この事業は2013年8月7日午後西尾張部交差点において発生した中学生死亡事故を教訓に、地域と行政そして中学生が一体となって実施している交通事故防止啓発活動です。

10年目の昨年は啓発活動の形骸化防止のため、2013年の事故発生時被害者が住んでいた五分一区の元区長 田中友雄さんに当時の事故の状況、住民自治協議会の事故再発防止に向けての取り組みの様子を9月に行われた住

民集会でお話ししていただきました。

「顔も見たこともない」「声を聞いたこともない」先輩のために「雨の日も雪の日も」街頭に立ち啓発活動を続ける生徒と地域住民が一体となるよう、今後も後押しをしていくつもりです。活動というものは、結果がすぐに出る事もあれば5年10年後に評価されるものもあります。まさにこの活動は後者のそれそのものであり、今後地域住民の皆様の結果として現れることを期待していきたいと思います。

世の中には「10年ひと昔」とか「10年一区切り」という言葉があります。この取り組みはこ

の言葉にあらがう事業として、二度と悲惨な事故を繰り返さない取り組みを末永く継続していくこととします。

今回の住民集会で田中友雄さんからお話がありました当該交差点での交通安全の取り組みと願いを掲載させていただきます。

(安全部会長)



## 西尾張部交差点での交通安全の取り組み

平成25年度五分一区長 田中 友雄

平成25年8月7日(水)午後1時40分頃、五分一区の三陽中学校の生徒が夏休み中の部活動の帰宅途中に国道18号西尾張部交差点で青信号を東から西に自転車横断道路をヘルメットを着用して渡っていた時に、大型トラックが東から青信号を左折走行中に生徒に気が付かず衝突し生徒が死亡する事故がありました。

この横断道路は、五分一区の三陽中学校生徒が通学する唯一の道路です。

翌8日夜には、三陽中学校五分一区PTA支部役員と今回の死亡事故は人災であることから、再発防止の会議を行い、翌日には区長あてに要望書を提出してもらいました。

古牧地区住民自治協議会長に「現地死亡事故診断と再発防止検討会議」を関係者と早急に開催するように要望書を提出し、警察には歩車分離の信号機の新設と横断道路の改修、国道長野事務所には歩道橋の新設と横断道路周辺の障害物の撤去を要望しました。

三陽中学校の五分一区PTA支部役員から夏休み明けから再発事故防止啓発運動を当面朝夕の通学時間帯にPTAが行うので、区役員にものぼり旗をお願いしたいとの協力要請があり見守りを始めました。

住民自治協議会と古牧地区交通安全協会により事故現場交差点周辺に「交差点事故多発」のぼり旗を9月に設置して頂きました。

9月に「第1回現地死亡事故診断と再発防止検討会議」を住民自治協議会関係者、交通安全協会、五分一区長、三陽中学校PTA支部長、警察と国道長野事務所が出席して開催しました。

警察には歩車分離の信号機の新設と横断歩道の移設改修を要望しましたが「歩車分離の信号機の新設は多額の費用が掛かり交通渋滞となり信号機の新設はできない、横断歩道の移設改修はできる」、国道長野事務所には横断歩道橋の新設を要望しましたが「予算がないのでいつになるかわからない」との回答で進展はありませんでした。

10月に「第2回再発防止検討会議」を前回同様の関係者で開催しました。

警察より「信号機の改修と横断歩道の移設改修を9月補正予算に計上し、現地調査をして平成25年度中に完了する」国道長野事務所より「国道19号からの右折車線延長改修工事も完了する」との報告を受けました。

事故発生から7ヶ月後の3月15日に道路の交通渋滞もなく、歩行者と自転車が安全で安心して渡れる横断道路ができました。

このような交通死亡事故を風化させないために、常に地域全体で交通事故防止啓発に取り組んでゆかなければなりません。

安達神社の遷座記念物

古牧郷土史研究会 佐藤 哲雄

安達神社の御神木の前に石造物があります。これは安達神社の遷座記念物です。建立は宝暦7年(1757)境内の史跡で年号が確認できる最も古いもので、前年の宝暦6年吉田家から御神体の掛軸が下付された由来によります。平林街道の拡幅事業で玉垣と共に支障になり、昭和60年現在の位置へ移しています。



記念物

区有文書『永代役元記録』に宝暦7年の記述があります。「宝暦7丑年、村方総潰れに罷りなり候所、御上様より、段々お手充下し置かれ、漸々取り続き、有り難く存じ奉り候」(読み下し)この年困窮していた村は松代藩からの救済でしのいでいます。

このことから、石造物の建立は、遷座記念に合わせ窮状の復興祈願もしたと考えられます。簡素な造りですが、村の貴重な歴史を伝えていきます。



永代役元記録

娑婆鉛筆

新たな年に思う

いつも賑やかな声が漏れ聞こえてくる近所の保育園も、お正月のこの時期はひっそりと静まり返り、園庭の遊具が少し寂しそうに見える。

我が家においては、普段より子ども達と過ごす時間が多くなり、家事、育児の負担は増すものの、子ども達と一緒に居られる幸福感もあり、私は毎年この時期を楽しみに迎えている。また、父母に会いに行き、孫との時間、祖父母との時間を作れることも喜びの

一つだ。それに、普段なかなか会えない親類や、昔馴染みの友人らと会い、話に花を咲かせるのも、また楽しい。

コロナ禍以降、帰省を遠慮していたご家族が今年は帰省され、共に時間を過ごされたご家庭もあるのだろうと思う。会いたい時に、会いたい人に会いに行けるのは幸せなことなのだ、コロナによって気付かされた。この何でもない幸せが、今後は脅かされる事なく、平和で穏やかなお正月が毎年続きますようにと強く願っている。(鈴木睦美)

1月から2月までの主な行事実施日のお知らせは回覧等でお知らせします。



古牧地区の世帯数と人口

令和5年12月1日現在

11,821世帯

(男 13,012人)

26,259人

(女 13,247人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会  
(電話 259-8359・FAX219-1057)  
(E-mail:komaki@vivid.ocn.ne.jp)
- 発行者 田中 邦夫
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 SR



HP  
ご覧ください